

琵琶湖及び周辺河川環境に関する専門家グループ制度
第3回水陸移行帯ワーキンググループ会議
議事のまとめと今後の方針

1. 議事次第

議 事 次 第	
1. 開会挨拶	
2. 議 事	
	(1) 第2回水陸移行帯ワーキンググループ会議 議事のまとめ
	(2) 流域委員会への報告内容について
	(3) 琵琶湖の水位変動を含めた水陸移行帯の環境改善に必要な調査結果報告(第一報)
	(4) 漁業者との意見交換を踏まえたアンケートの様式について
	(5) 琵琶湖・陸域連続性の回復のための具体策について
3. その他	
4. 閉 会	

日時 平成16年7月28日(水)13:30~17:00

場所 ぱるるプラザ京都5階会議室A

2. 出席者

<p>専門家グループ：浅野助教授、嘉田教授、戸田元青年会長、西野総括研究員、前畑総括学芸員(欠席：竇教授)</p> <p>琵琶湖河川事務所：河村、酒井、佐久間、吉川、他</p> <p>大戸川ダム工事事務所：脇坂</p> <p>水資源機構関西支社丹生ダム建設所：原</p> <p>事務局：(財)河川環境管理財団</p>
--

3. 使用資料

- 資料 - 1 第2回水陸移行帯ワーキンググループ会議 議事のまとめと今後の方針
- 資料 - 2 淀川水系流域委員会への報告について
- 資料 - 3 琵琶湖の水位変動を含めた水陸移行帯の環境改善に必要な調査結果(第一報)
- 資料 - 4 漁業者との意見交換を踏まえたアンケートの様式について
- 資料 - 5 琵琶湖・陸域連続性回復のための具体策について
- 参考資料 調査検討(中間報告)に係る委員からの意見(淀川水系流域委員会第3回ダムWG資料2)

4. 議事のまとめ

項 目	1. 第2回水陸移行帯ワーキンググループ会議 議事のまとめ
意見のまとめ	● 植栽ヨシと天然ヨシの違いの記述について、「その違いが分かっている」は、「その違いが指摘されている」という表現に修正する。
今後の方針、等	・指摘事項を修正する。

項 目	2. 流域委員会への報告内容について
意見のまとめ	● 水陸移行帯の生態環境への影響の検討においては、大前提として、あくまでも多くの推測とフィードバックの中で試行的にせざるを得ない、ということを書き述べておくべきである。そして今後施策を実施する上で問題になるのは、例えば「連続性の確保」の場合、その具体策をどうするかであるが、これもある程

	<p>度順応的に進めて行かざるを得ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 用語の使い方が統一されていないため、「復元」「創出」「保全」「再生」等の用語を整理し、水陸移行帯 WG として定義する。 ● 例えば富栄養化について、河道の変化と富栄養化はダイレクトには結びつかないので、表中の問題と要因の関係を示す矢印を実線と点線、太線で程度によって使い分けるのはどうか。関係の程度が分からないと乱暴な議論をしている印象があるため、関係の重み付けを行うと資料が見やすくなる。 ● 「分析対象項目の変化の原因分析 (p30 ~ p39)」は各分野の専門家が内容を再確認する。 ● 水位操作を社会に提案する場合、社会のニーズをそのまま 100% は受け入れられず、そこにはトレードオフの関係があるということも理解してもらうために、p42、p44 のまとめ方を少し工夫するべきである。
今後の方針、等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指摘内容を踏まえて、資料の精度を更に向上させる。

項目	3. 琵琶湖の水位変動を含めた水陸移行帯の環境改善に必要な調査結果報告 (第一報)
意見のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 地形位置情報と確認生物種の情報を同時に見られるような資料整理をお願いしたい。
今後の方針、等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指摘内容を踏まえて、資料の精度を更に向上させる。

項目	4. 漁業者との意見交換を踏まえたアンケートの様式について
意見のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● アンケートを行う場合は誰が回答したかという情報源が重要で、結果の解析を行う際にも必要である。 ● 「いつから」「何が」取れなくなったか、水産資源ではなく統計に上がらないタナゴなどの情報が重要である。 ● アンケートをする場合は、生活と結びついた一定のストーリー性やアンケートを行おうとしている情報の共通化、標準化を行う等のそれなりの準備が必要である。
今後の方針、等	(特になし)

項目	5. 琵琶湖・陸域連続性の回復のための具体策について
意見のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 新旭町針江の移行帯の環境改善については住民参加型で実施することが望ましい。
今後の方針、等	(特になし)

項目	6. その他
意見のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 次回の開催日程について、9 / 13, 9 / 15 の午後で欠席委員との調整を行う。